

地下鉄短信(第105号)

平成25年11月12日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会

責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

記事 ○ 「予算・税制等に関する政策懇談会」(自民党)で予算要望

○ 「予算・税制等に関する政策懇談会」(自民党)で予算要望活動を行う。

去る11月12日(火)に自由民主党本部において、平成26年度予算編成を控え「予算・税制等に関する政策懇談会」が15時30分から開催され、運輸・交通関係団体委員長である関芳弘(兵庫三区選出)の司会の下、関係国会議員も列席する中、当協会から中鉢 裕・理事(仙台市交通局長)及び武林 郁二専務理事が出席し、「予算要望書(地下高速鉄道整備事業等)」(次頁参照)に基づき、平成26年度の地下高速鉄道整備事業費等の予算要望を行った。

この度の会合は、自由民主党組織運動本部の運輸・交通部会並びに政務調査会国土交通部会に「運送・自動車・旅行関係団体」の14団体が集まり、予算重点事項及び税制改正等について説明を行ったものであり、政権交代後、初めての会合となった。

当協会からは、去る7月の「予算重点要望事項」を柱に、国土交通省鉄道局の概算要求の状況を踏まえ、

(1)「地下高速鉄道整備事業費(13,018百万円)」

特に、①仙台市東西線新設及び福岡市七隈線延伸(継続)、②木場駅、勝どき駅のホーム拡張等(同)、③ホームドア等の設置(同)、④耐震補強工事(同)、⑤トンネル等の更新・改修(新規)

(2)「エコレール・ライン・プロジェクト(12,500百万円の内数)」(国土交通省・環境省連携事業)

に係る重点予算項目について、中鉢 裕理事が強く要望し、予算の満額確保を要請したところである。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp

予 算 要 望 書

(地下高速鉄道整備事業等)

平成 25 年 11 月

一般社団法人 日本地下鉄協会

地下鉄の建設、改良につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

地下鉄は、大都市圏域における交通ネットワークの主軸であり、その新設、延伸、改良は、大都市圏域の活力の増進に極めて大きな効果をもたらします。

さらに、地下鉄は、自動車の交通量を減らし、安全・快適な生活空間を創出し、CO₂の抑制にも寄与するところ大であります。

何とぞ、地下鉄の効用をご理解賜り、平成 26 年度予算の地下高速鉄道整備事業費として、13,018百万円を確保し、これに対応する地方財政措置を講じていただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

I. 地下高速鉄道整備事業費補助 13,018百万円

1. 仙台市東西線の新設 (継続)
2. 福岡市七隈線の延伸 (継続)
3. 木場駅(東京メトロ)、勝どき駅(東京都営大江戸線)のホームの
拡張等 (継続)
4. エレベータやホームドアの設置 (継続)
5. 耐震補強工事 (継続)
6. トンネル等の更新・改修 (新規) 等

II. 国土交通省と環境省の連携事業

エコレール・ライン・プロジェクト(鉄道の省エネ化事業)

12,500百万円の内数

(低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援基金)